

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270500499		
法人名	社会福祉法人勲功会		
事業所名	グループホーム祥光苑		
所在地 (電話番号)	〒037-0092 青森県五所川原市沖飯詰字帯刀378番地 (電話) 0173-39-5080		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 17日	評価確定日	平成 19年 12月 28日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 16人, 非常勤 2人, 常勤換算	18人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	3,000 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬季7,500 円
敷金	有() 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(9月 15日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢 平均	84 歳	最低	72 歳
		最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	白生会胃腸病院
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>平成15年に設立され、2ユニットのホームで横並びに機能的な構造となっている。また、広々とした敷地には立派な庭園がある。その庭園で家族会が中心になり食事会をし、入居者、家族、職員に好評であった。更に管理者が育てている愛犬(げんきくん)は入居者を癒すホームのアイドルとなっていてアットホームな施設である。職員数も管理者を含め18名と、ゆとりのある体制である。管理者は職員のやる気を引き出すように努め、ホ - ム全体に活気があった。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>これまでのグループホームの介護理念を見直し、「地域の中で入居者がその人らしく暮らし続ける」ことについて盛り込んだ理念を今年7月、職員一丸となって作成した。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員が1人1人自己評価し、全体で話し合いをしながら取り組み、ケアプラン見直しやパンフレット作成時に活かしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、何でも話し合われている。鍵をかけない工夫についても討議され、その結果、最低限の所を施錠することにしたが、その弊害については常に配慮し今後も検討していくこととしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>運営推進会議に参加した時、来苑時の情報交換や行事参加の時、ホ - ムだよりを郵送した時など意見を吸い上げるよう努力している。金銭管理については出納簿をつけているので確認印や定期的な家族への報告などが望まれる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>入居者は隣接する小学校の行事に参加したり、近所に買い物に出かけるなど日常的なつきあいがある。職員は、キャラバンメイトとして、地域に認知症を正しく理解していただくための啓蒙活動を積極的に行っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自己評価では「地域の中で入居者がその人らしく暮らし続ける」ことについて盛り込んだホ-ム独自の理念の見直しについてはこれからということでしたが、今年度の7月に職員と一緒に作りあげ支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホ-ムの理念は職員と一緒に作りあげ、共有されている。更に日々の申し送りなどで具体的に話し合い実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	利用者は隣接する小学校の行事に参加したり、近所に買い物に出かけるなど日常的なつきあいがある。職員は、キャラバンメイトとして、地域に認知症を正しく理解していただくための啓蒙活動を積極的に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価の意義は理解されているが、具体的な改善には至っていない。</p>		<p>着実に前進しているが、更に具体的に実践しているサービス一つ一つについて評価、改善されることに期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的実施している。メンバーは地域住民の代表、家族、民生委員と市役所担当の方が参加して開催され、記録もきちんと整備され活用されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当者とは運営上のことや現状の報告など連絡を取り合いサービスの向上に繋げている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業を利用している入居者もいることから、職員は研修会に参加し理解を深め、さらに伝達研修を実施して職員間の共有を図り活用している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待はしないという認識を持ち、高齢者虐待防止関連法についても学び、ホームでの虐待防止につとめている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退居の場合には十分説明し納得してもらった後に、同意書をとっている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月請求書を送付する際、一緒に担当者から生活状況について報告している。</p>		<p>金銭管理については出納簿をつけているので確認印や定期的な家族への報告などが望まれる。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱が設置されている。家族来訪時に意見、要望を聞き、時にはアンケートを活用して意見の吸い上げを行い、運営に反映させ支援している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の配置換えはないが離職者や採用者のあった時等は入居者や家族に説明し不安のないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新採用者を対象にした研修と月1回の法人の内部研修が行われている。外部研修にも参加する機会が多くあり、職員の自己啓発を支援している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修やキャラバンメイトの定例会などで、情報交換をしてケアに活かし、質向上に励んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時には家族より情報を得、ケアプランに配慮して家族と情報交換している。また、利用開始前に見学してもらい、利用者同士が顔なじみになれるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者が自分らしく生活して頂くために、生活歴の情報や嗜好など把握している。職員は利用者に教えてもらいながら農作業をするなど一方的な介護にならないよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員がアセスメントをしながら、入居者本位の対応をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見は随時機会をとらえ取り入れると共に、職員はカンファレンスノートを活用して意見を出しケアプランを見直している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランの見直しは3か月に1回行っている。さらに入居者の変化に応じて、その都度見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>緊急時の通院や外出支援など柔軟に対応している。</p>		<p>ホームには立派な庭園や温泉があり、憩いの場としての活用を検討しているとのことなので、今後期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望によりかかりつけ医の受診ができるようにしている。4月より精神科医が月2回往診に来ている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に終末期の過ごし場所についてアンケートをとっているがその都度家族の確認をとっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人一人を尊重した言葉かけを徹底している。食事、食後の歯ブラシ、トイレ誘導の際もプライバシーに配慮して静かに声がけをしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人一人のペースに合わせてゆったりした生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員は、利用者と共に食事をしながら見守りや言葉掛けなどの支援をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週2回以上あり、さらに利用者の要望にも柔軟に対応している。また1人1人がそれぞれのペースでゆっくり入浴できる。温泉を利用しているため、入居者の希望があれば夜間でも支援できる体制をとっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴の情報から食事の準備や後片付けなどの役割を持ってもらい、入居者は楽しみながら行っている。入居者の経験を活かした農作業のアドバイスも戸外での楽しみ事となっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者の希望があれば買い物、理美容、散歩など戸外に出るよう支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないという事を職員が理解し周知している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない工夫で取り組んでいたが、離苑事故があり、ゆとりある人員を配置していても、命の保証や安全、家族の安心も得られないことから、最低限の所を施錠することで了解を得ている。しかしその弊害については常に配慮し、今後も検討していくことで支援を続けている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域住民の協力を得て一緒に防災訓練を実施している。緊急連絡の対応はボタン一つで職員全員に連絡がつくシステムを導入している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が算出している。1日1600カロリー -、1人1人の機能的力量に応じて支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがありファイルに整備されている。いつでも見れる所に置き活用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>過ごし場所は遮光、温度、湿度が管理され不快な音や臭気もなく、パブリックスペースには所々に椅子、ソファを置いてゆっくり友達と語り過ごせる空間作りの工夫をしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、思い出の写真を飾り、小机を持参するなどその人らしい生活感のある居室になっている。</p>		

 は、重点項目。